

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教育研修推進事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	04	02	03
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校全教職員	意図	教育内容の質的向上
事業内容	指導技術や専門的知識を学ぶ教職員研修の充実を図ることにより教育内容の資的向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	各種研修を通し、指導内容の改善・向上が図られ、教育力の維持向上に繋がっている。若手教職員の増加に伴い、研修の必要性が増している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	千葉県吹奏楽コンクール参加校	15	15	16	校	→→	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 千葉県吹奏楽コンクールには中学校8校小学校8校参加。本選出場を目指し日々練習に取り組んでいる。各種研修会に目的に応じた講師を招き、教職員の指導技術の維持向上を図っている。
	② 教育コンプライアンス研修	280	280	282	人	→→	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	増加する若手教職員の指導力向上の手立てとなった。日本管楽合奏コンテストでは、全国大会出場を果たした。						
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		802,900	886,000	923,000			
事業費(b)(円)		802,900	886,000	923,000			
うち一般財源		802,900	886,000	923,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	県研修の内容により市研修の内容を決定する。研修会のねらいに応じた運営方法を検討する。	③取り組みの課題	若手教員の増加に対応できる研修事業の内容を検討する。
②今年度(H26)に実施した取り組み	県研修会の内容を把握し、市研修会の内容を検討し運営に生かした。	④今後の改善計画	教職経験や学校内の立場・役割に応じた指導力向上に資する研修会の内容を検討し教職員の使命感・専門性を高める。